

(A) 報公特許 (12)

(11) 特許出願公開番号  
特開平11-3048

(43) 公開日 平成11年(1999)1月8日

(51)Int.Cl.		類別記号	
G 0 9 F	9/30		3 6 5
H 0 5 B	33/06		
	33/10		
	33/26		
		F <sup>1</sup>	
G 0 9 F	9/30		3 6 5 B
H 0 5 B	33/08		
	33/10		
	33/26		

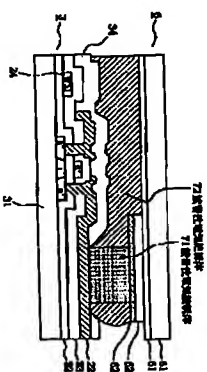
審査請求 未請求 特許関心第58 OL (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願平9-152306	(71) 出願人	000001007 キヤ／ン株式会社
(22) 出願日	平成9年(1997) 6月10日	(72) 発明者	栗林 正樹 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
		(72) 発明者	栗林 正樹 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤ／ ン株式会社内
		(72) 発明者	都築 英伸 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤ／ ン株式会社内
		(72) 発明者	上野 和則 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤ／ ン株式会社内
		(74) 代理人	弁護士 丸島 敏一 丸島敏一 敏一

(54) 【発明の名称】 エレクトロ・ルミネセンス素子及び装置、並びにその製造法

577 【契約】  
 【漢語】 高給職、高給度、以高給の連給高給度である  
 大野カラデスノイを以て現せるアケイアノトリ  
 クスノ用用臣し兼て及び、並びにその親類はを以て  
 すること。

【基本手段】 候補トランジスタの各ドレイン側には接続したドレイン電極 $T_1$ 、及びドレイン電極 $T_2$ の間に接続されたコンチンチオを備えたトランジスタ $T_3$ の基盤、並びに、複数の行及び列において、一列の電極及び一列の電極間に配置したエレクトロ、ルミネセンス素子を備えたエレクトロ、ルミネセンス基盤を有し、ドレイン電極 $T_1$ とエレクトロ、ルミネセンス素子とが対向する。また、ドレイン電極 $T_2$ とエレクトロ、ルミネセンス素子とが対向する。また、一列の電極と一列の電極間に配置したエレクトロ、ルミネセンス素子とを有し、エレクトロ、ルミネセンス素子とが対向する。



### 【特許請求の範囲】

〔結果項1〕 我族の行成例に對つて承認した酋長ト  
ランソナク、行成に、其行の我族の酋長、ランソナク  
のラントを其前に披露したダート族、例は、其例上の  
我族の酋長トランソナクのラントを其前に披露したソー  
レン、我族トランソナクの名ドレイン前に披露したドレ  
イン酋長バツド、及び族ドレイン酋長バツドに披露した  
コフナサを賜はトランソナク酋長、及びに我族の行  
成例に對つて配し、其の酋長及び、其の酋長の酋長  
に配した酋長トロー、ランソナクを賜は酋長エルト  
トロー、ルミネセソス酋長を、ドレイン酋長バツドと  
エルトトロー、ルミネセソスとを配するは、我族ト  
ランソナク酋長とエルトトロー、ルミネセソス酋長とを封  
印配し、ドレイン酋長バツドと、其の酋長の一方の電  
酋とを我族の酋長族を配して配した酋長エルト  
トロー、ルミネセソス酋長。

【請求項2】 前記エレクトロ・ルミネセンス体は、青色、緑色及び赤色の三原色を発光する構成を備えたことと、青色及び赤色の三原色を発光する構成を備えたこととを特徴とする請求項1記載のエレクトロ・ルミネセンス素子。

【請求項3】 前記エレクトロ・ルミネッセンス体は、青色、緑色及び赤色の三原色を発光する有機物質媒体を有したことを特徴とする請求項1記載のエレクトロ・ルミネッセンス素子。

【請求項4】 前記電気抵抗材料は、荷重性粒子を  
はば削りに分散含有させてなることを特徴とする請求項  
1記載のエレクトロ・ルミネッセンス素子。

【請求項5】 前記炭素性電気導体は、炭素性粒子を  
媒質中に分散含有させ、そしてシランカップリング  
を含有させてなることを特徴とする請求1記載のエ  
クトロ・ルミネッセンス素子。

【請求項6】 前記接合性電気導絡体の外周部に電気  
 導体を配置したことを特徴とする請求項1記載のエレ  
 トロ・ルミネッセンス素子。

【請求項7】 前記接合性細胞は細胞の外周部に接合性細胞様体を配列したことを特徴とする請求項1記載のエレクトロ・ルミネッセンス素子。

【請求項8】 前記炭素性気泡性材料の外周部に着色を含有した気泡性材料を配置したことを特徴とする請求項1記載のエレクトロ・ルミネッセンス素子。

【請求項D】 前記炭素性電気導媒体の外周部に炭素性導媒体を配したことを特徴とする請求項1記載のエレクトロ・ルミネッセンス素子。

【請求項10】 前記配線パターンジスタは、ポリシリコン薄膜層を有することを特徴とする請求項1記載のレクタロ・ルビネセンス素子。

【請求項1】 前記有機シリコン化合物は、アモルファスシリコン化合物又は微結晶シリコン化合物を有する膜とを特徴とする請求項1記載のエレクトロ・ルミネータ素子。

【請求項12】 前記樹脂トランジスタは、結晶シリコン半導体を作することを特徴とする請求項1記載のエレクトロ・ルミネセンス素子。

【請求項13】 前記エレクトロ・ルミネッセンス体は、  
さむ一対の電極のうち、少なくとも一方の電極は、テク  
スチャ構造をもつ透明電極である請求項1記載のエレク  
トロ・ルミネッセンス素子。

【請求項14】 前記エレクトロ・ルミネセンス体を有する一方の電極のうち、少なくとも一方の電極は、デンドリチク構造をもつ中空透明電極である請求項1記載のエレクトロ・ルミネセンス素子。

【請求項15】 複数の行及び列に沿って配置した第1複素ランジスタ、行毎に、該行上の複数の第1複素ランジスタのゲートを共通に接続したゲート線、列毎に、該列上の複数の第1複素ランジスタのソースを

道に接続したソース線、第1個ポートラジスタの各ド  
イン位に接続した第2個ポートラジスタ、及び第2  
個ポートラジスタに接続したコンデンサを備え、該第2  
個ポートラジスタのゲートを第1個ポートラジスタのド

イニに接続させ、第22個ポートラジスタの各ドライ  
 ーにドライン電極パッドを接続させ、そして第22個  
 ラジスタのソースと第コンデンサの一方の電極とを  
 接続してなるラジスタ基板、並びに集積回路の行及  
 び列を形成する。

に於て配置し、一對の電極及び另一對の電極間に充したエレクトロ・ルミネセンス体を置いたエレクトロ・ルミネセンス基板を有し、トロン電極パッドとエレクトロ・ルミネセンス体とが向面する様に、積層トラン

スタ基板とエレクトロ・ルミネセンス基板とを対向配置し、ドレイン電極パッドと一対の電極の一方の電極は、接点性電気接合体を通して接続してなるエレクトロ・ルミネセンス素子。

【請求項16】 前記エレクトロ・ルミネセンス体は青色、緑色及び赤色の三原色を発光する媒体を備え、これとを特徴とする請求項15記載のエレクトロ・ルミネセンス体。

【請求項17】 前記エレクトロ・ルミネセンス体青色、緑色及び赤色の三原色を発光する有機物材料を用いたことを特徴とする請求項15記載のエレクトロ・ルミネセンス素子。

【補説項18】 前記炭素性電気は純粋には、導電性を極限落中に分散含有させてなることを特徴とする項15記載のエレクトロ・ルミネセンス素子。

【請求項19】 前記炭素性電気は結晶性、導電性

【請求項20】 前記有機性電気伝導体の外周部に、  
エレクトロ・ルミネセンス素子、  
を接合層中に分散含有させ、そしてシランカップリング剤を含有させてなることを特徴とする請求項1の電

性電は絶縁体を配したことを特徴とする請求項1の電のエレクトロ・ルミネセンス素子。



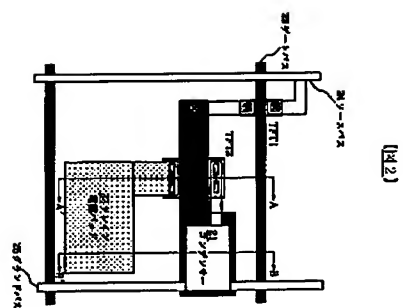




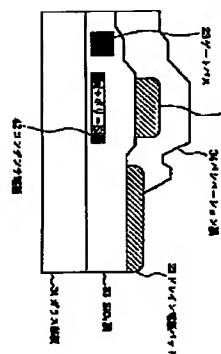








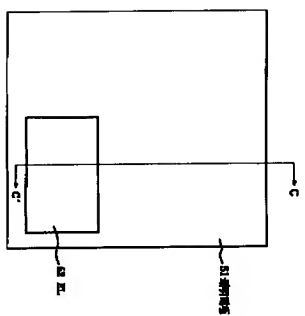
**[12]**



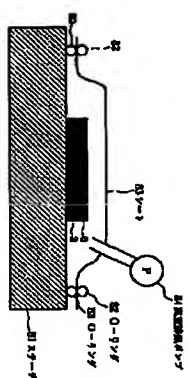
**【訳文】**



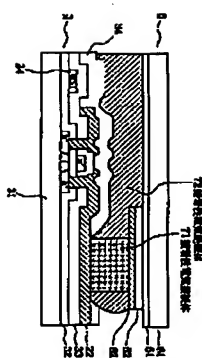
[५५६]



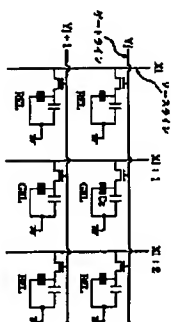
【延伸阅读】



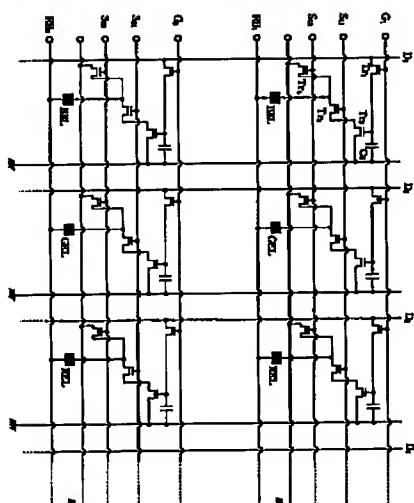
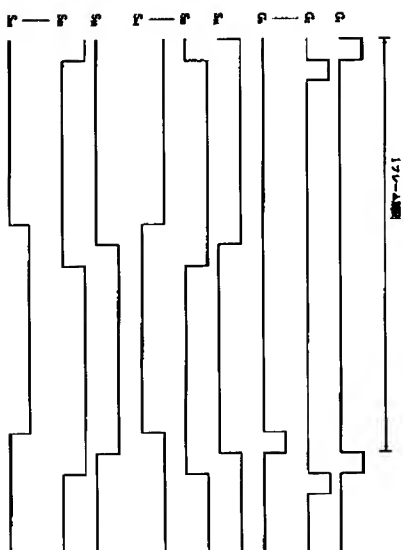
【例】



【例7】

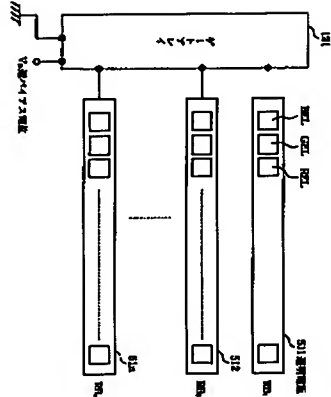


**[द्विः]**


$$\overline{[24 \mid 0]}$$


[17]

(図12)



フロントページの続き

(72)発明者 橋本 隆一  
東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ  
ン株式会社内

(72)発明者 船尾 幸弘  
東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ  
ン株式会社内